

「自分が変われば組織も変わる」

人と経営研究所 所長 大久保 寛司 氏

講演録の一部を抜粋してご紹介します。

●「仕事の進め方」と「人の能力」を高める

企業力を高める、経営の質を高めることによって、結果的にいろいろな成果が導き出されるわけです。経営の質を高めるといったときに、二つのポイントがあると思います。一つは仕事の進め方です。流れや仕組み、経営品質というプロセスの質を高めること。もう一つは、要素としては人です。人の能力を高めるということです。実は能力を高めるといって、もっと大事なものは意識で、やる気を高めることです。すなわち仕事のやり方、進め方が正しくて、そこに従事している人の質が高くなったときに、ここの出力というのは相当なものになるわけです。これをどう高めていくかということが、経営の質を高めていくということになります。

●仕事をする上で注目すべきは組織力

ここには経営者のかたもおられれば、一般社員のかたもおられるので、ちょっと話のしかたが難しいですが、組織で仕事をするときにいちばん大事なのは、個の人ではなくて、組織力です。組織力をいかに高めるか。でも、組織の中には必ず人がいますから、この一人一人のパワーをアップすることが一つの要素になります。でも、もっと大切なのは、人どうし、組織が交わった、交わり具合、すなわち組織間の連携が大切になるわけです。そして究極は、しょせん企業は人だといわれますが、これに尽きます。最近いろいろなところにおじゃまして痛感しているのは、最後は人のやる気に尽きるということです。

●部下のやる気が高まると、結果として業績はあがる

多くの企業、大体9割ぐらいの企業では、マネジメントとして部下のやる気を高めているかという点、実は上司自身が部下のやる気をそいでいます。しかし、そう思っている上司はいません。本人はやる気を高めようとしているのですが、実態はやる気をそいでいる、これが普通なのです。

今、これが普通だと申し上げました。私はとんでもないことをさらっと言ったのです。私は時々とんでもないことをあえてさらっと言いますが、さらっとした言葉の中に大事なメッセージがあります。そこに気がつくかどうかです。

講演録は全31ページで構成されています。

1部につき1,500円（消費税・送料込）で販売しております。

中国生産性本部会員、中国経営品質協会登録メンバーの方は無料です。